



がん治療センターニュースレター

がん治療センターでは、病気の治療だけではなく、患者さんやご家族の不安・悩みを解消する心のケアなどを行っています。



リンチ症候群

— 遺伝性の大腸癌や子宮体癌を克服する —



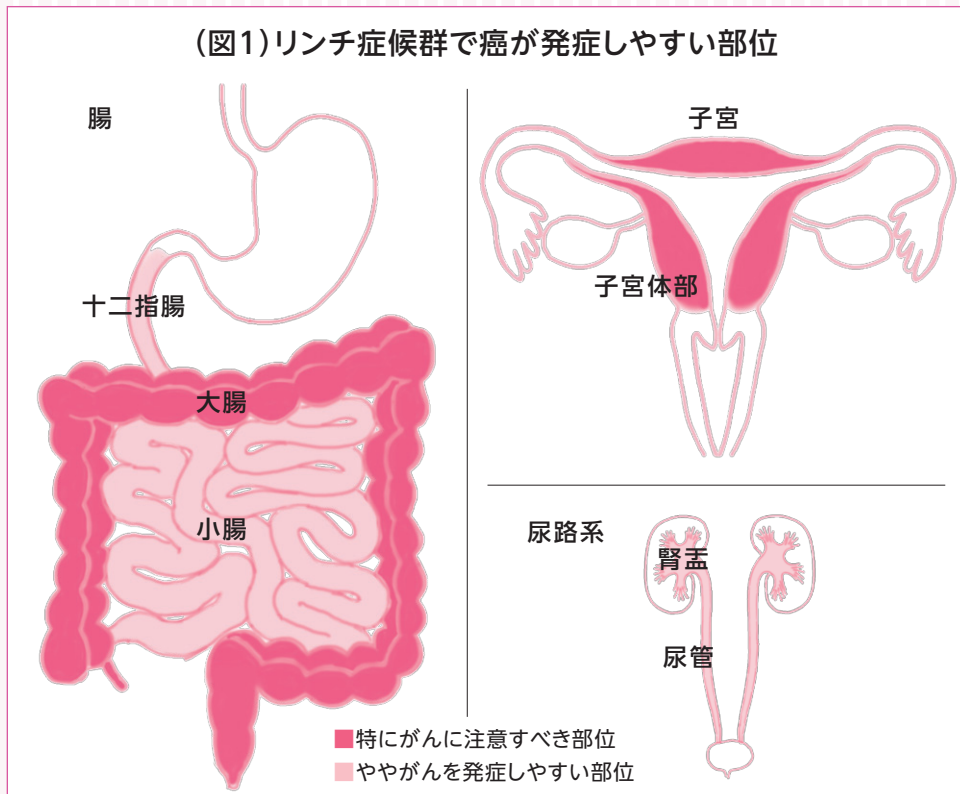
順天堂大学大学院
医学研究科 臨床遺伝学
教授
順天堂大学医学部附属
順天堂医院
ゲノム診療センター
副センター長
新井 正美

1 リンチ症候群とは？

リンチ症候群は、大腸癌や子宮体癌(子宮内膜癌)などを発症しやすい遺伝性の癌体質のことをいいます。

リンチ症候群では、大腸癌や子宮体癌(子宮内膜癌)をはじめ小腸癌(十二指腸を含みます)や腎盂尿管癌も少し発症頻度が高いとされています(図1)。以前は、わが国では胃癌の発症もよくみられました。リンチ症候群の方は、大腸癌の患者さんの約3%、また一般集団の280人に1人の頻度という海外の報告があります。

(図1)リンチ症候群で癌が発症しやすい部位





2

リンチ症候群に注意が必要な方/診断の手順

米国のガイドラインでは(表1)の項目に該当する方はリンチ症候群の可能性を検討することを勧めています。概ね、若くして大腸癌や子宮体癌を発症していることや家系にこのような癌の方がいることがポイントです。

リンチ症候群の確定診断は原因となる遺伝子(*MLH1*, *MSH2*, *MSH6*, *PMS2*, *EPCAM*の5つ)の遺伝学的検査が必要で、血液を用いて行います。遺伝学的検査を行う際には、遺伝カウンセリングを行います。健康管理を行う上で遺伝学的検査を行う意義や注意すべき点を理解していただくことが大切だからです。

この体質は常染色体顕性(優性)遺伝の形式で遺伝します(図2)。図2では、①を持っている人がリンチ症候群となります。しかし、①だけで癌が発症するわけではありません。日々の生命活動で③や④にも変異が入ると癌が発症する可能性が出てきます(70歳までにリンチ症候群患者さんが大腸癌を発症するリスクは、54~74%(男性)、30~52%(女性)、子宮体癌は28~60%とされています。)

リンチ症候群の診断の手順を(図3)にまとめました。この中で、MSI検査は保険収載されていますが、遺伝学的検査は自費診療で実施しています(2022年3月現在)。

さらにもしリンチ症候群であることが確認されれば、次に未発症の血縁者も同じ変異があるかを調べておくことにも意義があります。もし癌を発症していない血縁者が同じ変異を持っていた場合にも、ガイドラインに基づいた対策を計画的に実施します。

(表1)リンチ症候群の可能性を検討する基準(抜粋、一部簡略化)

大腸がんまたは子宮内膜がんの人で、以下のいずれかに該当する人

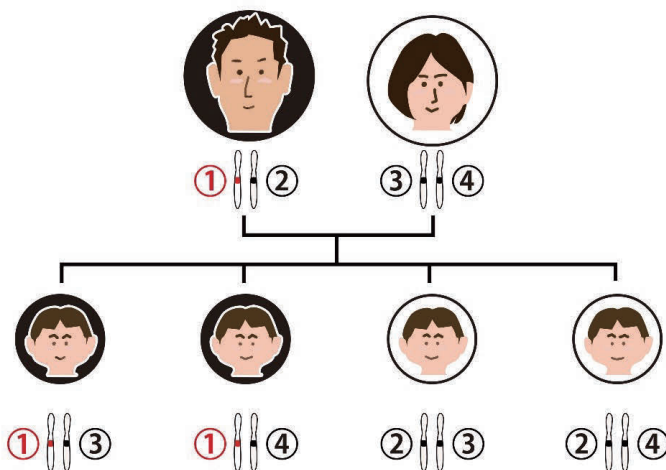
- ・50歳未満で診断された者。
- ・年齢に関係なく、同時性あるいは異時性にリンチ症候群関連癌を発症している。
- ・50歳未満で診断されたリンチ症候群関連癌の第一度または第二度近親者が1名いる。
- ・2人以上の第一度または第二度近親者が、年齢に関係なくリンチ症候群関連がん罹患している。

リンチ症候群関連癌の家族歴がある

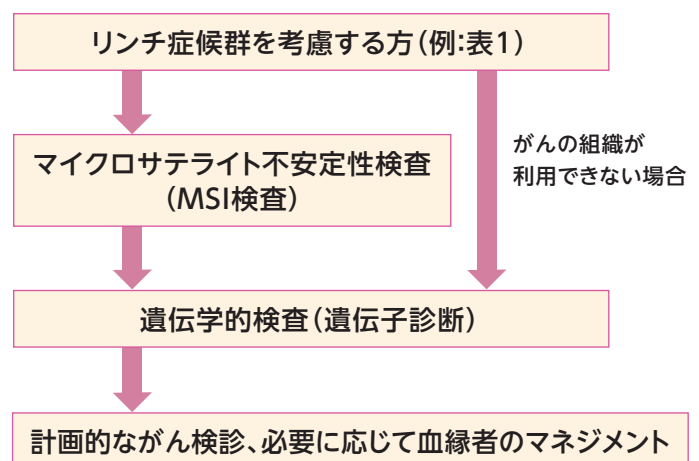
リンチ症候群関連癌:大腸癌、子宮内膜癌、胃癌、卵巣癌、尿路上皮癌、脳腫瘍(通常、膠芽腫)、胆道系癌、小腸癌、脂腺腫

(NCCN Guidelines, Genetic/Familial High-Risk Assessment: Colorectal. Version1, 2021)

(図2)リンチ症候群の体質が遺伝するしくみ



(図3)リンチ症候群の診断と対策の手順





3 リンチ症候群の対策

リンチ症候群の対策は、計画的ながん検診です(表2)。特に年1~2回の大腸内視鏡検査はリンチ症候群では大変有効です。リンチ症候群の大腸癌は6割近くが内視鏡治療のみで治癒しています。また、リンチ症候群の大腸癌も、良性の腺腫から癌へ進行すると考えられており、大腸内視鏡時に腺腫(ポリープ)をその都度切除しておくことにより、大腸癌の発症を約6割も減少させることがわかっています。

(表2)リンチ症候群の主な関連腫瘍に対するサーベイランスの目安

部 位	検査方法	検査開始年齢	検査間隔	コメント
大腸	大腸内視鏡	20~25歳	1~2年	
子宮・卵巣	経膈US、 子宮内膜組織診 (または細胞診)、 (CA-125)	30~35歳	1年	
胃・十二指腸	HP感染	30~35歳		HP感染があれば除菌
	上部消化管 内視鏡	30~35歳	1~3年	胃癌リスクの高い集団、または胃・十二指腸癌の家族歴がある場合に考慮
尿路	検尿 (または尿細胞診)	30~35歳	1年	MSH2バリエント、または尿路上皮癌の家族歴がある場合に考慮

US:超音波断層法(ultrasonography) HP:ヘリコバクター・ピロリ(Helicobacter pylori)

(大腸癌研究会編、遺伝性大腸癌診療ガイドライン2020年版より)

4 まとめ

リンチ症候群は生命予後が良好で対策が提示できる病態であり、元気な高齢の患者さんも多くいらっしゃいます。自分をよく知ること、その対策を医療者と一緒に考えることにはとても大きな意義があります。当院ではそのような遺伝カウンセリングや診療科での対策の体制を整えております。

なにか不明な点がありましたら、当院臨床遺伝外来までご連絡ください。

(お問合せ先:03-5802-1768:当院メディカル・コンシェルジュ(難病医療支援外来)>臨床遺伝外来)



コロナ禍に陥りやすい 足からの感覚の不足



リハビリテーション室
技士長

北原 エリ子

コロナ禍においてどの世代でも運動不足が問題となっています。運動不足は、筋力や持久力の低下だけでなく、筋肉が収縮したことや関節が動いたことを脳へ知らせる感覚信号の不足につながります。特に足の筋肉や関節からの感覚信号の不足は、その信号によって制御されるバランス能力の低下を引き起こします。ちょっとした休憩、テレビを見ている時など、座ったままでもできる体操を行って足からの感覚の不足を補いましょう。



▲足の指の付け根から土踏まずの間には、たくさんの筋肉があります。その筋肉を手でほぐすように動かしましょう。

踵をサッと挙げてゆっくりと下ろす。▶



◀足を持ち上げてつま先を上下に動かしたり、足首を回すように動かしましょう。



◀踵とつま先の運動を交互に行いましょう。

**“サッと挙げる”
“ゆっくりと下ろす”**

運動スピードに緩急をつけましょう。

◀つま先をサッと挙げてゆっくりと下ろす。

～がんのリハビリテーションの提供体制について～

順天堂医院リハビリテーション室には、がんのリハビリテーション研修会を修了した理学療法士43名、作業療法士8名、言語聴覚士6名がおります。患者さん・ご家族のご希望を伺い、病態・症状・治療方針について常に医師・看護師と情報を共有し、患者さん・ご家族とともに多職種で目標を検討しながらリハビリテーションを進めています。



ミニレクチャーのご案内

患者さんやご家族の方々が、病気やその治療について理解を深めていただけるよう、テーマを決めて定期的に動画配信を行っています。

2020年7月までは、会場にお越しいただき、講演後には質疑応答の時間を設けておりましたが、2020年9月より、新型コロナウイルス感染拡大防止のため動画配信とさせていただきます。最新情報を盛り込んだ内容となっておりますので、是非ご覧ください。



2021年11月配信

- | | | |
|---------------------|-----------|--------|
| ①胃癌治療における低侵襲手術とは? | 上部消化管外科医師 | 夕部 由規謙 |
| ②CART細胞(キムリア)療法について | 血液内科医師 | 安藤 純 |

2022年1月配信

- | | | |
|--------------------|---------|-------|
| ①肺がんの薬物療法 | 呼吸器内科医師 | 朝尾 哲彦 |
| ②免疫チェックポイント阻害剤について | 腫瘍内科医師 | 城戸 秀倫 |

2022年3月配信

- | | | |
|-------------------|-------------|-------|
| ①前立腺癌への最新ロボット支援手術 | 泌尿器科医師 | 知名 俊幸 |
| ②リンパ浮腫のケア | がん治療センター看護師 | 野上 典子 |

URLまたはQRコードを読み取りご覧ください。

URL:<https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/cancer/patient/program/mini/>

順天堂医院 がん治療センターミニレクチャー | 検索



オンラインがん茶論のご案内

「がん茶論」は、患者さんご家族が主役の会です。

今気になっていることを話し合ったり、他の人の経験を聞いて参考にしたり、がんと共に生活する上で役立つ情報を聞いたりする会です。

新型コロナウイルスの影響で、休止しておりましたが、2021年11月よりオンラインで再開いたしました。

事前申し込み制となっておりますので、下記URLをご参照の上、「順天堂医院オンラインがん茶論申し込みフォーム」よりお申し込みください。



URL:<https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/cancer/patient/program/salon/>

がん茶論 | 検索



▶お問い合わせ・・・03-5802-8196



旬の食材

今回は「いちご」についてご紹介します。

栄養部 永井田 優衣

春の行楽として、いちご狩りがあるように、春はいちごの季節です。

いちごは、様々な栄養素を効率的に摂取できる食材として知られています。特に抗酸化作用のあるビタミンCが多く、アントシアニン・ケンフェロール・カテキン等のフラボノイドや、ポリフェノールの中でも抗酸化作用の強いエラグ酸等の栄養素が含まれています。エラグ酸は、抗酸化能作用、抗がん作用があることが知られています。

また、葉酸が多く含む果物としても知られており、貧血や味覚障害等を予防する働きがあります。有効な栄養素を取り入れるためには、大きさにもよりますが、1日当たり大体5～10粒程度を目安に旬の食材を楽しみましょう。



がん治療センターニュースレター

[2022年5月 第39号] 創刊 2009年5月(年3回発行)

●発行元: 順天堂医院 がん治療センター

●住所: 東京都文京区本郷3-1-3

●電話番号 & ファクシミリ: 03-5802-8196

●Eメール: cancer@juntendo.ac.jp

●ホームページ: <https://www.juntendo.ac.jp/hospital/clinic/cancer/>

